

令和6年度 狭山市立水富小学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

- A：よくできている。(90%以上)
- B：概ねできている。(85%以上)
- C：あまりできていない。(70%以上)
- D：できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から
			評価	説明	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・本年度の重点目標である「児童からの信頼、家庭・地域からの信頼、教職員相互の信頼を基盤とした学校づくり」に向けて、全教職員が当事者意識を持って学校経営に参画している。	・教職員は協力して教育活動に取り組んでいる。 ・わかりやすいグランドデザインが示されたり、学校運営に関する説明会が開催され、保護者や地域への周知も実感しました。 ・下校時の児童の笑顔から一日学校で楽し過ごせたことがわかります。 ・目指す学校像→学校教育目標・目指す児童像→…経営の重点・努力点で具体的活動が明記され、更に「日々の具体的取り組み…日常の意識」まで、わかりやすく示されている。 ・トイレ、廊下、昇降口、掃除が良くできていてきれいです。 ・下駄箱の靴そろえもよくできています。 ・重点目標に向けて具体的な手立てが明確である。 ・諸問題に対して早急な対策を講じていて、先生方が協力して問題に対処されていることを感じた。 ・校長教頭を中心に、先生方は様々なことに協力されていることをとても感じる。
	2	児童生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	A		
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A		
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A		
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A		
学習	6	教師は、児童生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	・どのクラスも比較的落ち着いた雰囲気での授業を展開している。 ・児童用タブレットや電子黒板等、ICTの効果的な活用を考えながら授業を行っている。	・毎回、工夫をこらした授業ができていると思います。 ・どの学年も落ち着いた態度で学習に臨んでいたと思います。先生方の授業の進め方も安心感があり、十分な教材研究がされているからこそ感じました。 ・英語活動の授業を見せていただいた限り、どの学年も楽しそうに積極的に手を挙げていました。 ・授業を参観すると、落ち着いた授業を受けている姿を見ることができる。 ・落ち着いた学習態度が学力に結びつくことを感じた。 ・スクリーンで楯の木や各クラスの授業内容実績等の便利を見て、先生・生徒とも努力しているのがわかります。 ・板書は「ねらい」「思考過程」「まとめ」がはつきりしていて分かりやすい。(忙しいと思うが作品への赤ペンがほしい) ・読み聞かせボランティアで、狭山に残る伝説や昔話を素話で語っているが、子供たちはどの学年も目を耳を傾けてくれる。
	7	児童生徒は、落ち着いた学習に取り組んでいる。	A		
	8	児童生徒は、基礎的基本的な学力を身に付けている。	B		
	9	児童生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。	A		
	10	児童生徒は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A		
規律ある態度	11	児童生徒は、進んであいさつをしている。	B	・生徒指導・教育相談委員会を月に1度行い、全教職員が児童理解に努め、共通理解のもとで児童の指導にあたっている。 ・登校時のあいさつに課題が見られるため、引き続き指導していく。	・登校時では、進んであいさつができる児童が少ない。自分から先にあいさつできる児童が増えてくれれば良いなと思います。学校に伺った時など、廊下などでは明るい元気なあいさつで気分が良いです。 ・「水小遊園地」では、低学年のクラスを参観させていただきましたが、ていねいな説明、しっかりとした受け答えができていて成長している姿がたのしく感じました。 ・昨年に比べてあいさつをしてくれる子が増えました。校内で会った時にも、あいさつをしてくれる子が増えるとうれしいです。 ・廊下を走り回る、乱暴な言動を発する等の姿を見たことはありません。規律を守り穏やかな学校生活が送れているのだと思います。 ・廊下ですれ違ったとき、先生方はもちろん、多くの児童があいさつをしてくれるのがとてもうれしいです。 ・わたしの地域では、登校時の見守りボランティアに対するあいさつが少ないのが残念です。帰りにはみんな元気にあいさつをしてくれるのですが…。 ・挨拶に関して、下校時などは元気な声が返ってきます。強いて言うならば、朝、元気の無い子が多いように感じます。 ・来校すると気持ちよく挨拶をする児童が多い。先生方も必ず気持ちよく挨拶をしてくださり、児童の手本になっている。 ・水小に一步入ると、先生方の笑みのある挨拶に心温もる。とても心地よい。
	12	児童生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	A		
	13	児童生徒は、時間を守って生活している。	A		
	14	児童生徒は、きまりを守って生活している。	A		
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A		
健康・体力	16	学校は、児童生徒の体力を高めている。	A	・どの学年も年間計画に基づき、体育の授業を実施することができた。 ・養護教諭を中心に、感染症対策や熱中症対策に取り組んだ。	・組み体操も安全に考慮されたうえで挑戦されていました。 ・夏休みの新体力テストの結果・考察で総合評価A+B+Cで県の目標を達成していること、しかし、昨年、一昨年との比較では少し落ちていることをしっかり受け止め、「日々の授業が大事」「日々の指導例」「運動の苦手な子への配慮」「楽しく取り組み運動に親しむ」など、先生方の工夫と配慮が感じられました。 ・休み時間に元気よく遊んでいる児童の姿が印象的です。 ・児童の運動会で堂々と誇らしげに演技する様子、全力で競技する様子、終わった後の笑顔から、先生方の児童への指導がうかがえます。 ・運動会などの行事で一生懸命に取り組む児童の姿や日頃の体育の授業、業間休みで遊びの様子を見ると運動や体を動かすことの楽しさを十分に感じているように思う。
	17	児童生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A		
	18	児童生徒は、健康を意識した生活をしている。	A		

地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	・学校、保護者(学校役員)関係者、地域の人たち(自治会長)、APOC等が顔を合わせる機会をつくってほしいと思います。 ・学校だよりでは、学力学習状況調査や学校アンケートの結果と考察を公表されたり、前月の学校行事、学年行事の紹介等が分かり易く紹介されていたり、毎回読むのが楽しみです。 ・学校運営協議会では、学校の良い部分だけでなく課題や児童の問題点もしっかり伝えていただいているので、一層の連携・協働意識を持つことができます。 ・SCSCに関わる事業が広がりをみせているので、今後も発展することを願います。 ・熱心に学校を支える地域の方と学校がしっかりと連携をもてている。地域の方や団体と児童がかかわっていくことで、地域への愛着が育っているように思う。 ・学校内において、いろいろな役の人がいるが行事等は、全員に声かけして顔あわせを行ったらどうか。 ・コミュニティスクールは委員長のリーダーシップのもと、地域と学校と家庭が一体となれる方向性に向きつつあることを実感している。 ・先生方と学校運営協議会委員との座談会で、お互いの親近感がもたれ信頼にもつながった。 ・運動会で「水富音頭」が復活したことに感激した。当時の教員に話したら驚き喜んでいた。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	B	